

除

〔6年〕

10画
フ 阝 阝 阝 除 除 除

はねる



なりたち 余裕の意味の余とがけを表した下との会意形声字。がけを登るのに余裕をもつて登れるように作った階段を表した字。特に宮殿の階段をい、転じて、掃き清める・汚れをのぞく意味に使われる。

ジヨ・ジ
のぞく

いみじゆく

▼のぞく。とりのぞく。
掃除：こみやほりを掃いて取り除き、きれいにすること。

除外：とりのぞくこと。ある範囲や規定の外におくこと。

除外規定

解除：禁止・制限などの処置を取り止(や)めて、もとの状態に戻すこと。例 警報解除
除名：名簿からその名前を除去すること。特に団体から脱退させること。例 除名処分

▼古いものを除いて新しいものにつく。
除夜：十二月三十一日の夜。

▼官を授ける。
除目：平安時代、大臣以外の官職を任命する儀式。

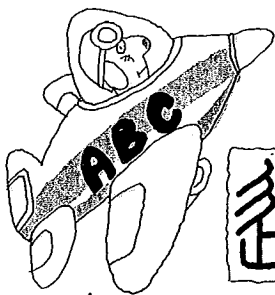
▼数学で割り算のこと。
除法：割り算。

よみかた 除去・駆除・削除

途

10画
ノ 八 今 全 余 途

はねる



途

なりたち 分かれる意味の余と道の意味のとの会意形声字。人が目的地へ行くまでには一本道ではなくて、多くに分かれ道をもつのが普通である。目的地に通ずる「みち」を表した字。転じて、やり方・方法の意味。

いみじゆく

▼みち。
途中：目的地までの道のりの中ほど。中途。

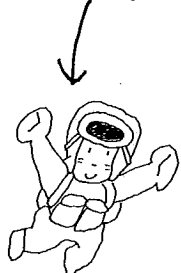
途上：①途中。②物事の進行中であること。例 発展途上国

途次：道すがら。道のついで。途中。

方法 ①行くべき方向。②方法。手段。やり方。例 途方に暮れる。(どうしたらよいかわからなくて困ること)

③道すじ。道理。例 途方もない。(むちゃくちゃ。度はずれ。)

よみかた 帰途・使途・前途



途傘

叙

9画
ノ 八 今 全 余 叙 叙

はねる



なりたち 旧字体は叙で余と支との会意形声字。余は余裕、支は処置する意味。余裕をもって処理できるよう、順序次第を立てること。転じて、順序よく述べる意味に用いる。

いみじゆく

▼順序をつける。位につける。
叙勲：勲等を授けられ、勲章を受けること。

叙任：位を授け、官につかせること。

▼順序をたてて述べること。
叙述：順序よく述べること。

また、その述べたもの。
叙事：事実をありのまま述べるすること。例 叙事詩(歴史的事件・英雄の伝説などを物語風にうたった詩。)

叙情：感情を述べしるすること。
自叙：自ら述べること。例 自叙伝(自分で書いた自分の伝記。)

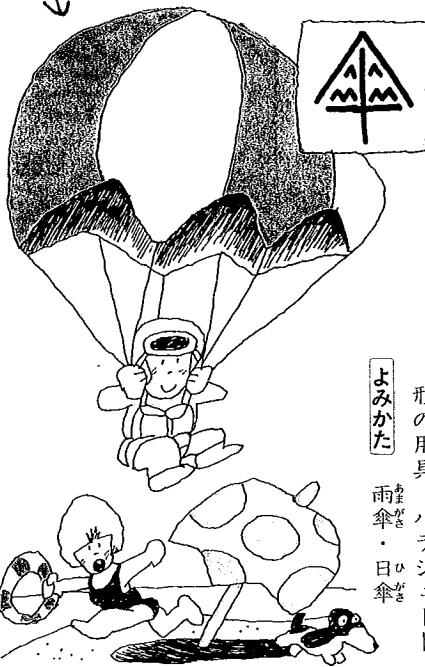
▼はしがき。序と同じ意味。
よみかた 叙位・叙景



傘

12画
ノ 八 八 今 全 傘 傘

はねる



傘

なりたち かさの形を表した象形字。「からかさ・雨がさ。日がさ」。転じて、人の上を広くおおうものをいう。また、「かさの形をしたもの」。

いみじゆく

▼かさ。
傘下：①かさの下。②中心的な人物・勢力の統率・支配を受ける立場にあること。

例 総評傘下の組合。
▼かさの形をしたもの。
鉄傘：鉄骨で作った円型の屋根のこと。例 国技館の大鉄傘。

落下傘：飛行機からとびおりて安全に着陸するための傘形の用具。パラシュート。
よみかた 雨傘・日傘